

# 水痘（水ぼうそう）

愛媛医療生協

## 【原因】

水痘と帯状疱疹は水痘 - 帯状疱疹ウイルスと言う同じウイルスによって発症します。このウイルスに免疫を持たない人が初めて感染すると水痘を発症します。一度罹患すると終生免疫となります。

【感染経路】 空気感染、接触感染、鼻・喉・結膜からの飛沫感染です。

【潜伏期間】 10～21 日

## 【感染期間】

発疹がでる 1～2 日前から発疹出現後 5～6 日間です。特に発病初期に極めて感染力が強いのが特徴です。

【好発年齢】 幼児から学童に多く発症します。

## 【症状】

胴体を中心に、赤い発疹ができ、それがすぐ水疱に変わり、やがて黒ずんで乾いていきます（痂皮化）。発病後 4～5 日間は新しい発疹が出現し、新旧各段階の発疹が混在します。頭髮部や粘膜（口腔、陰部、結膜）にもできるのが特徴です。発疹の出方は個人差があります。何れにしても約 1 週間で治ります。

## 【治療と家庭看護】

ウイルスに効く内服薬（アシクロビル）があり、発疹発現後 1～2 日以内に飲み始めると軽症化する事ができます。痒みを軽減する目的で石炭酸亜鉛華リニメント（カチリ）を塗布します。

重症例は、入院の上アシクロビルの点滴を行います。やはりできるだけ早期に開始する必要があります。

**食 事：**いつも通りでよいのですが、口内炎を起こしている時は軟らかいもの、流動食がよく、酸っぱいものや辛いものは避けます。

**清 潔：**かゆがって爪でひっかくと、化膿することがあるので爪は短くし清潔にしておきましょう。

**入 浴：**水疱が乾いてきたら入浴は構いませんが、ゴシゴシこすらないで下さい。

## 【隔離期間】

全ての発疹が痂皮化すれば登園・登校は構いません。自然経過で 7～10 日、抗ウイルス剤で治療すると約 5 日に短縮します。

### 【解熱剤使用について】

水痘にかかった時に解熱剤としてアスピリン(バファリン)などのサリチル酸製剤を使ってはいけません。ライ症候群という重病にかかるかも知れないからです。当院ではアセトアミノフェン(カロナール)を使用しています。

### 【合併症】

水痘脳炎があります。水痘患者の数千人に1人の割合で発症します。高熱、頭痛、嘔吐、痙攣、歩行障害、意識障害などが主な症状です。ごく少数を除き、大部分は完全に治ります。

### 【予 防 法】

#### 水痘ワクチンの接種

わが国でも、2014年10月より水痘ワクチンの定期接種が開始されました。1-2歳児を対象に1歳で初回投与します。その後、5か月以上間隔をあけて2回目を接種します。3歳まで公費接種の対象となりました。

### 【先天性水痘症候群】

妊婦が妊娠20週頃までに水痘に罹患すると、1~2%の頻度で先天性水痘症候群が発生し、胎児・新生児に重篤な障害を起し、死産に至る症例も稀に報告されています。また、分娩前5日~産褥2日間に妊産婦が水痘を発症した場合、新生児は胎盤を通して水痘ウイルスに感染して、移行抗体がないため重篤化しやすいと言われています。

(2020.5.15)